

# 推進計画に基づいた施策の進捗状況



# 1.推進計画の概要

## 1. 計画地域

西播磨東部地域

## 2. 計画期間

平成26年から概ね10年

## 3. 基本目標

浸水被害による人的被害の回避又は軽減並びに県民生活及び社会経済活動への深刻なダメージを回避するため、下記の対策を組み合わせた「総合治水」を推進する。

ながす：河川下水道対策

ためる：雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる等の流域対策

そなえる：浸水した場合の被害を軽減する減災対策



# 推進計画の概要

## ながす：河川下水道対策

### 河川対策

- ◆国は、中上流域に集中している堤防未整備区間の河川改修及び維持管理を行います。また、堤防の浸透や浸食に対して安全性の低い区間では背後地の人口、資産等を踏まえて順次安全性を確保する対策を実施します。
- ◆県は、富島川水系での河川改修及び維持管理を行います。また、ダムของ 事前放流を行う等、ダムその他の河川管理施設の適正な管理を行います。
- ◆市町は、準用河川及び普通河川における整備及び維持管理を行います。
- ◆内水による浸水被害が生じている地域では、流域の特性に応じた対策を実施します。

### 下水道対策

- ◆市町は、下水道(雨水)計画に基づき、1/5～1/10程度の規模の降雨に対して浸水を生起させないため、下水道整備及び施設の維持管理を行います。



## ためる：流域対策

- ◆田んぼダム、校庭、公園、ため池、公共施設、各戸貯留等を活用して、雨水貯留浸透機能を向上させ、地先での内水による浸水被害の軽減や、河川や下水道等への雨水の流出を抑制します。
- ◆ポンプ施設(河川管理施設以外)については、適切な操作を実施し、堤防の決壊を防止します。
- ◆遊水機能を有する農地等については、極力維持します。
- ◆森林の整備及び保全により、雨水貯留浸透機能の回復強化を図るとともに、異常な土砂流出による河道への土砂堆積を防止します。



田んぼダムの事例  
(太子町阿曾地区)



各戸貯留の事例  
(たつの市)

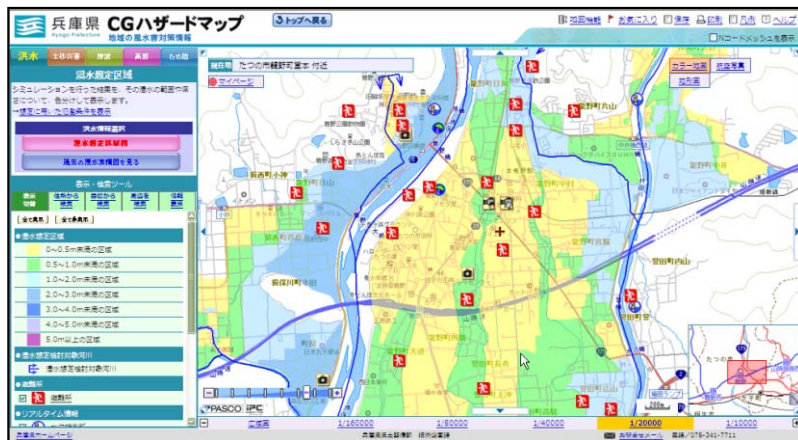


緊急防災林整備の事例  
(宍粟市山崎町)

# 推進計画の概要

## そなえる：減災対策

- ◆浸水想定区域図及びハザードマップ等の周知徹底を図ります。
- ◆雨量・水位データや河川ライブカメラ等による河川の状況に関する情報提供を行います。
- ◆既存の水防に係る組織、団体等の活動内容や既存防災施設等を活かして、水害が発生した場合でも被害を軽減化する対策を進めます。
- ◆建物の耐水機能や集落の浸水被害の防止対策を進めます。
- ◆浸水被害から早期に生活再建できる対策に取り組みます。



CGハザードマップ



マイ防災マップの作成状況  
(宍粟市)

フェニックス共済  
(パンフレット)

## モデル地区

### モデル地区

- 河川下水道対策
- 流域対策
- 減災対策

①たつの市揖保川町  
ひばりヶ丘地区

②宍粟市一宮町安積地区

③太子町揖保川流域地区

※安積地区には、中安積地区、曲里地区が含まれる。

※太子町揖保川流域：阿曾、下阿曾、福地、老原、常全、宮本、船代、岩見構上、岩見構下、太子ニュータウン、吉福、沖代、米田、塚森、蓮常寺、西本町、相坂団地を含む。



## モデル地区

①たつの市揖保川町  
ひばりヶ丘地区

区分	名称	内容	取組主体
河川下水道 対策	馬路川	河床掘削	県
	下水道整備	半田神部中央雨水幹線の整備	たつの市
流域対策	田んぼダム	田んぼダムせき板の設置	県民
		田んぼダムせき板の配布	県、たつの市
	各戸貯留	雨水タンクの設置	県民
		雨水タンクの普及推進	県、たつの市
		雨水タンク設置のための助成制度	たつの市
減災対策	水防訓練の実施	避難訓練、ゲリラ豪雨体験等	国、県、たつの市、県民



## モデル地区

### ②宍粟市一宮町安積地区

区分	名称	内容	取組主体
河川下水道 対策	曲里地区：揖保川、引原川	堰改築、河床掘削	国
	中安積地区：揖保川	築堤	国
	河川維持管理	土砂撤去、樹木伐採等	国、県
流域対策	兵庫県立伊和高等学校	校庭貯留	県
	田んぼダム	田んぼダムせき板の設置	県民
		田んぼダムせき板の配布	県、宍粟市
森林整備	混交林整備等による保水力維持	県、宍粟市、県民	
減災対策	防災マップの周知	防災マップの周知、見直し	宍粟市、県民
	水防訓練の実施	防災マップを踏まえた防災訓練の実施	国、県、宍粟市、県民

## モデル地区

### ③太子町揖保川流域地区

区分	名称	内容	取組主体
流域対策	田んぼダム	田んぼダムせき板の設置	県民
		田んぼダムせき板の配布	県、太子町
	各戸貯留	雨水タンクの設置	県民
		雨水タンクの普及推進	県、太子町
		雨水タンク設置のための助成制度	太子町
減災対策	水防訓練の実施	避難訓練、ゲリラ豪雨体験等	国、県、太子町、 県民

## モデル施策

「**田んぼダム**」をモデル施策として位置づけ、平成35年度までに**揖保川流域圏**で**900ha**の実施を目指します。

### 事業の推進

- 田んぼダムの効果を検証する実証実験(県)
- せき板の配布による田んぼダムの取組支援(県・市町)
- せき板の設置による田んぼダムの取組(所有者)

### 普及・啓発

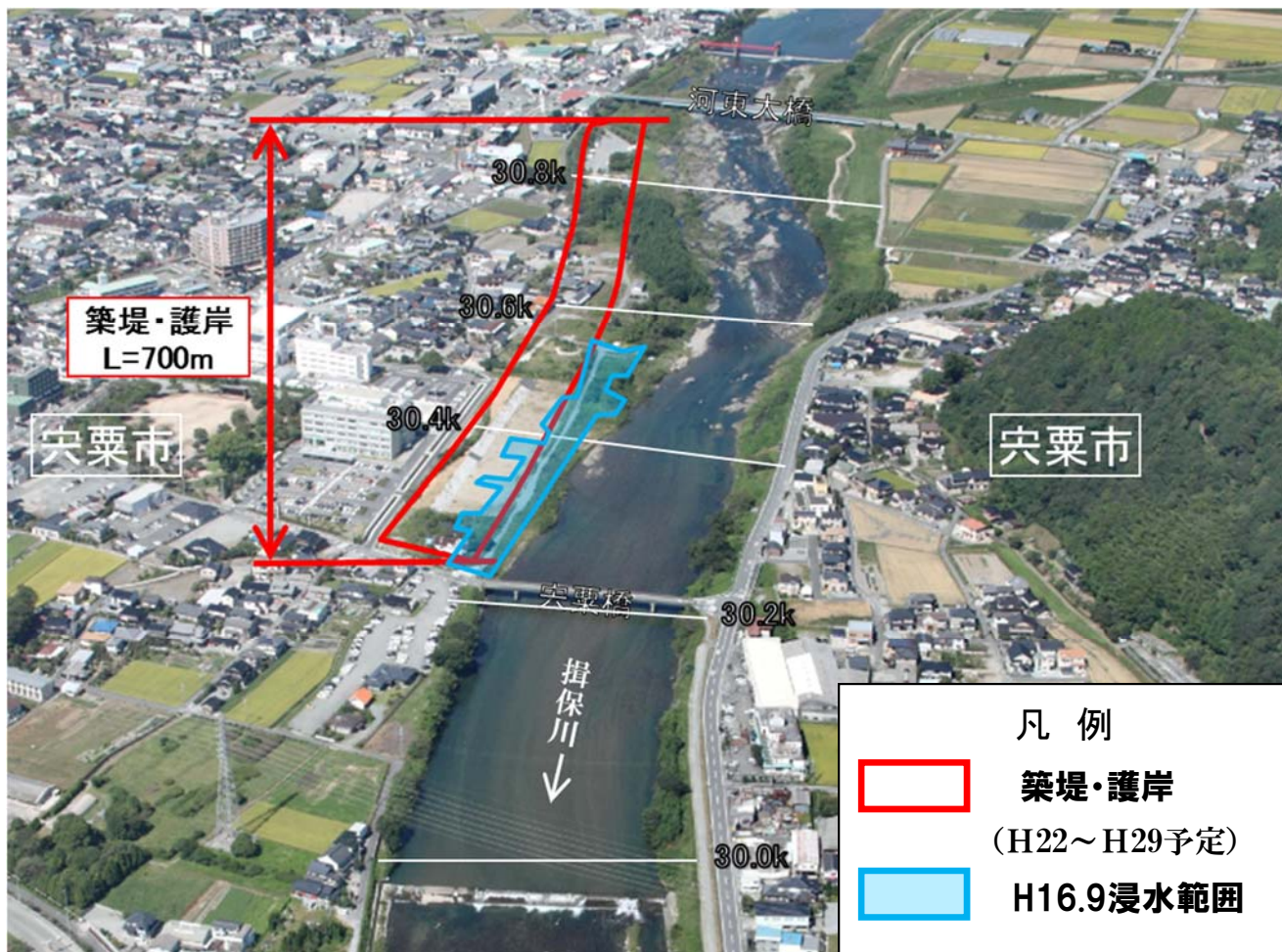
- 活動看板の設置、取組みを広げる活動冊子の作成(県)
- せき板の使用状況の確認、大雨前の水管理の徹底等を図る周知活動(県・市町)

## **2.推進計画に基づいた 施策の進捗状況**

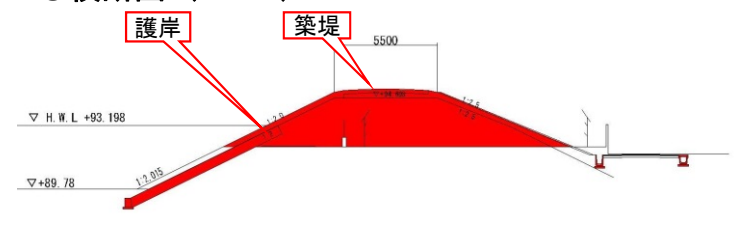
## 中広瀬・今宿地区の築堤

○H16.9出水により浸水被害を受けており、再度災害防止対策で優先的に実施する箇所に位置づけ。

○河川改修と同時に、宍粟市がかわまちづくり整備事業を実施。揖保川の清流、歴史的施設や周囲の自然を活かし、水辺とふれあうことができる交流・憩いの場として活用。



●横断面図 (30.6K)

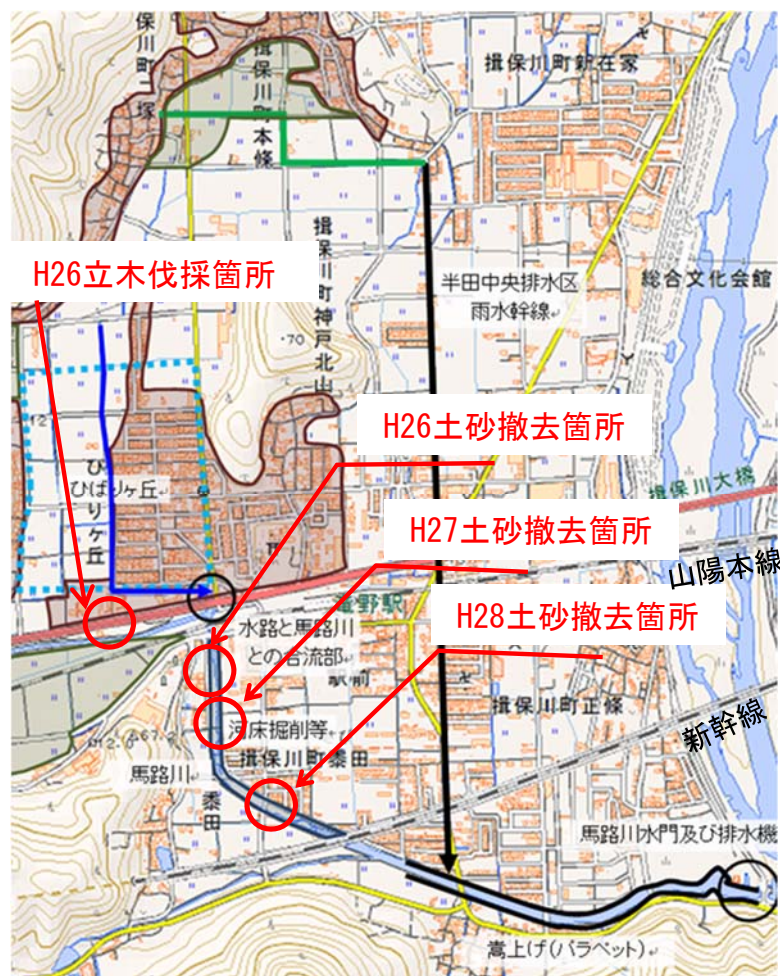


平成28年度の現場状況 (高水敷の掘削)



今宿地区かわまちづくりパース

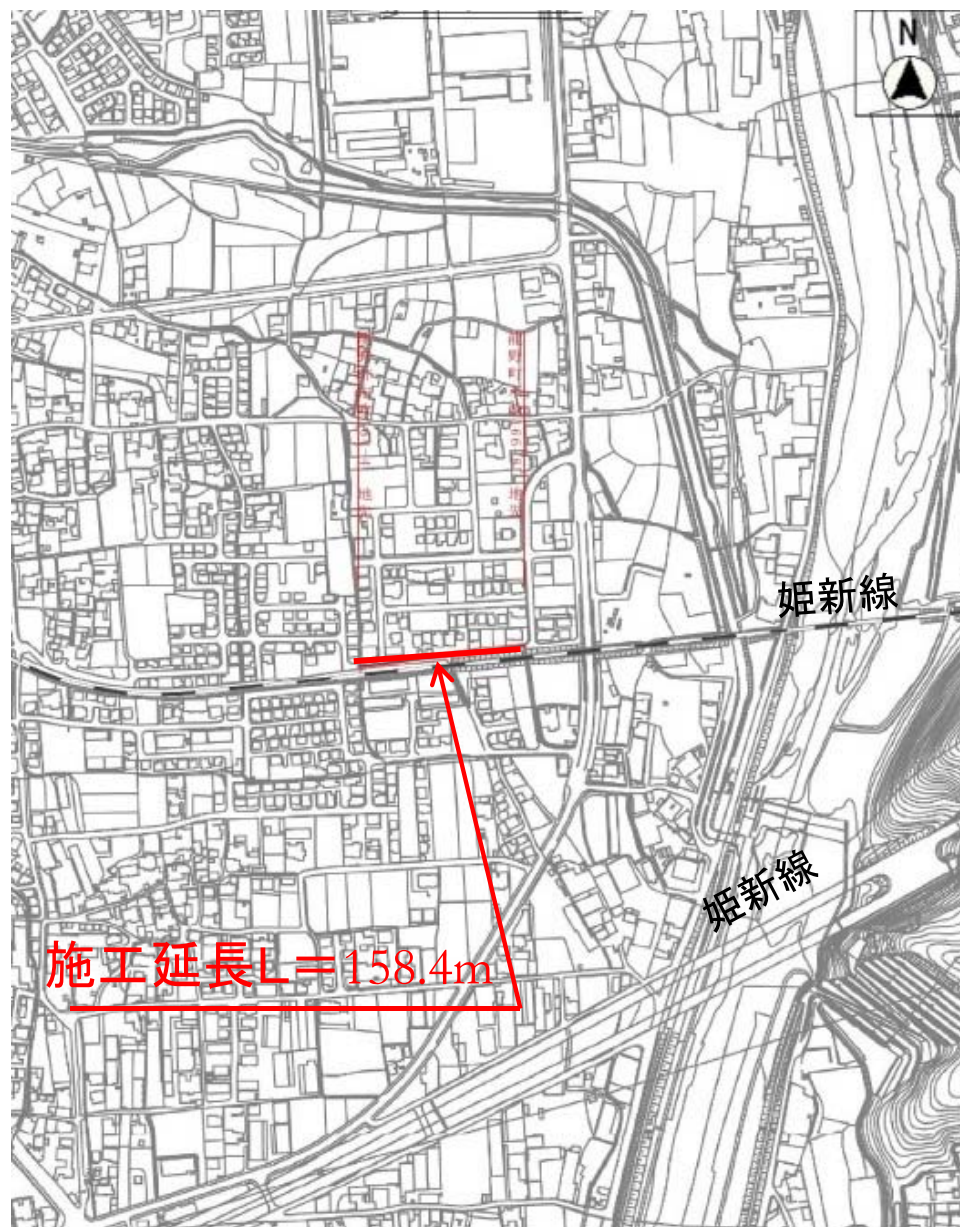
### 馬路川における河床掘削や河道内樹木の伐採



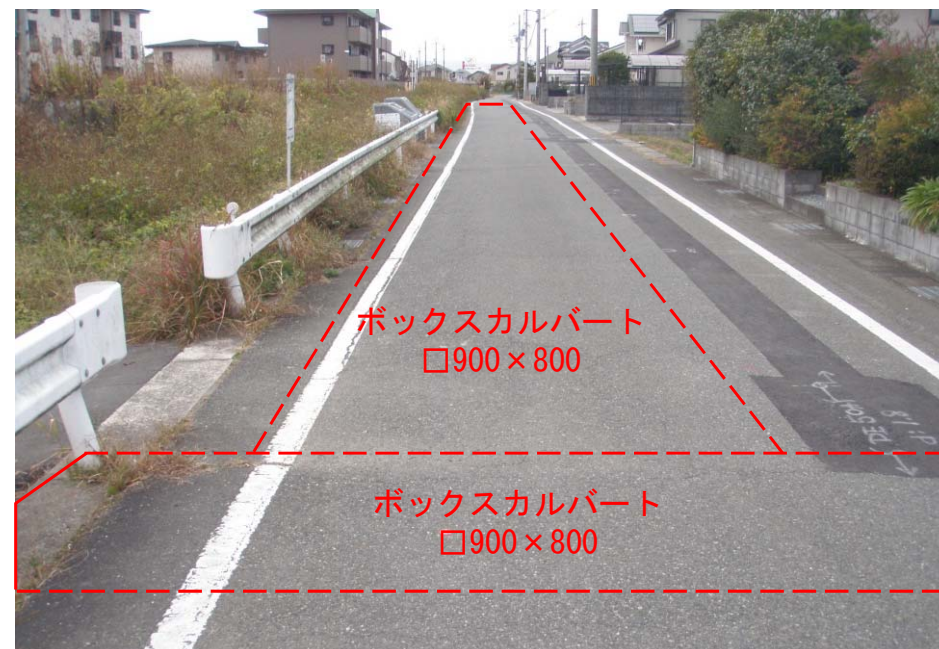
位置図(たつの市揖保川町ひばりヶ丘)

たつの市

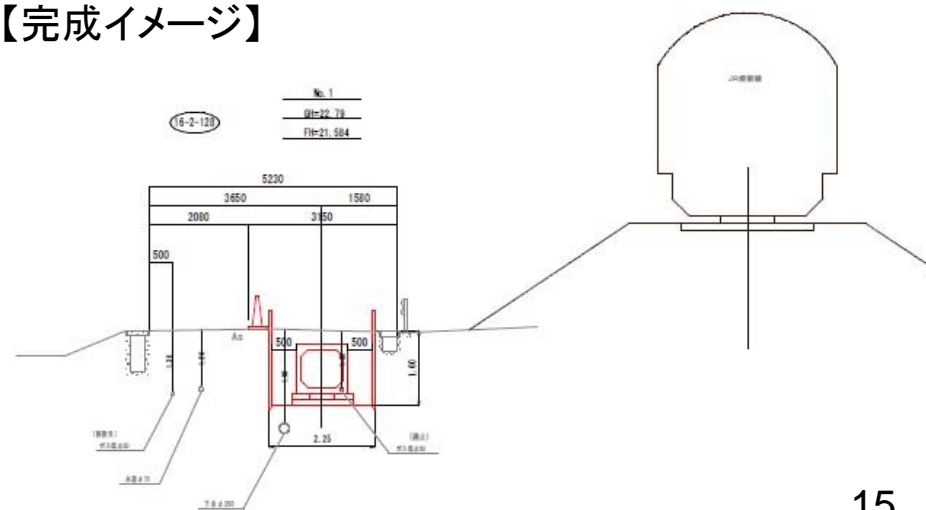
## 雨水排水路の整備工事（中村・末政地区）



【現況】

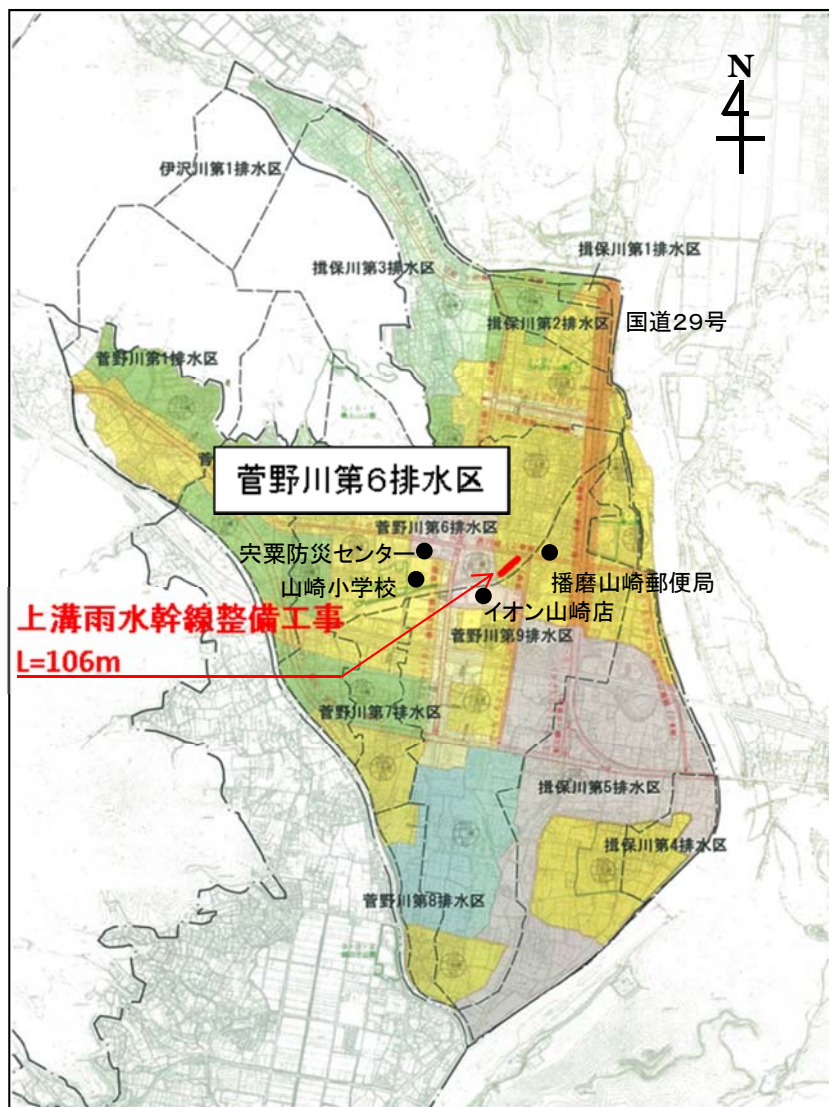


【完成イメージ】



## 菅野川第6排水区 上溝雨水幹線整備工事

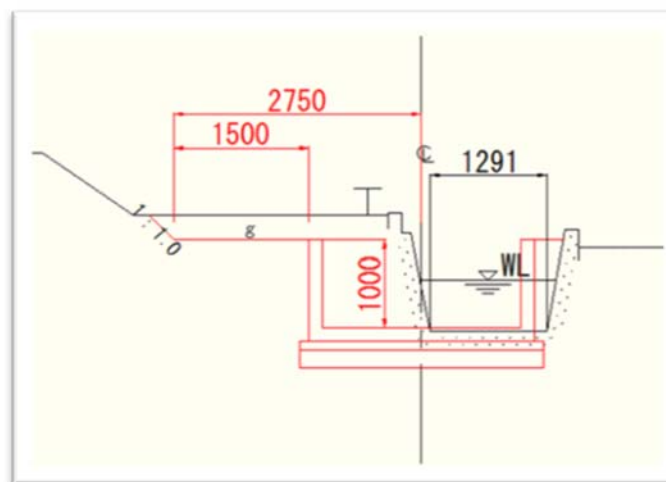
健全な浸水対策を図るため、断面狭小な水路を整備する。



【現況】



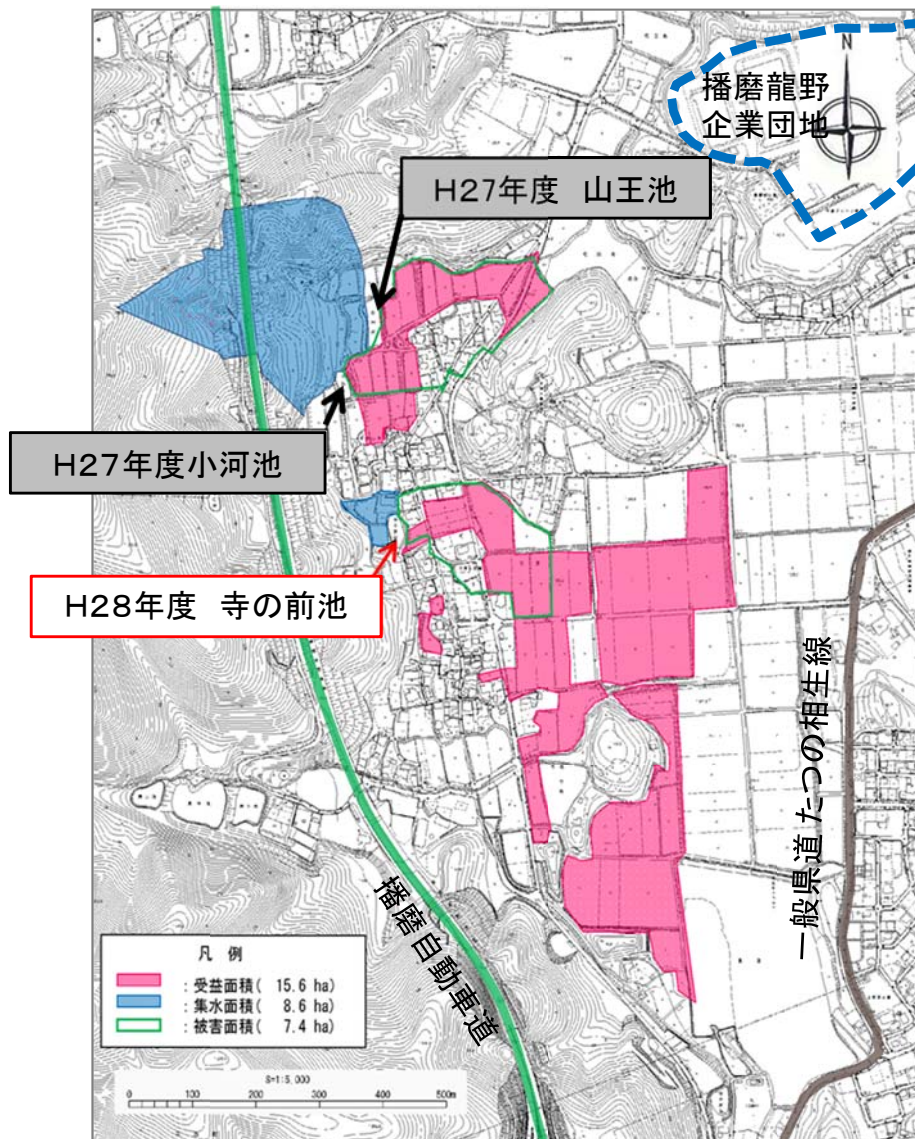
【完成イメージ】





兵庫県

## 寺の前池で緊急放流設備を整備



寺の前池 (たつの市揖西町竹原)

- 台風等の大雨が降るおそれがある場合に、緊急に水位を下げる緊急放流施設設備を施工

※取水機能も兼ねており、計画的な事前放流にも対応可能



ため池の改修にあわせて、緊急放流設備を整備

## 田んぼダムの取組を推進

田んぼダム取組み状況

市町名	実施面積 (ha)				備考
	H26	H27	H28	合計	
たつの市	17	60	45	122	笹野、篠首、下野田、原、片島、入野、前地、大住寺、善定
宍粟市	64	56	210	330	宇原、川戸、青木、安積、西安積の他、宍粟市多面的支払交付金実施分を含む。
太子町	2	69	0	71	阿曾、岩見構上、広坂、常全、馬場、岩見構下
合計	83	185	255	523	



太子町



4月29日(金) フロンティア祭  
光都プラザ芝生広場(赤穂郡上郡町)

各市町

## 貯留タンク設置のための各戸貯留の支援

各市町が貯留タンク設置にかかる助成制度を実施している。



姫路市



太子町



たつの市

### 雨水貯留タンク設置等への助成実施状況

28年度は、12月末時点

市町名	実施年	助成基数					備考
		H25	H26	H27	H28	合計	
姫路市	H27. 5. 11～	—	—	97	55	152	全市域で実施中
たつの市	H25. 8. 19～	5	11	16	21	53	全市域で実施中
太子町	H26. 6. 1～	—	8	7	2	16	全町域で実施中
合計		5	19	120	77	221	

## 災害に強い森づくりへの取り組み

防災面での機能を高めるため、災害に強い森づくり:第2期対策(平成28~32年度)として、下記の取組を推進する。

- ①緊急防災林整備(流木・土石流災害が発生する恐れのある渓流域の森林機能強化)
- ②里山防災林整備(集落等裏山森林の防災機能強化)
- ③針葉樹林と広葉樹林の混交林整備(高齢人工林の機能強化)
- ④野生動物育成林整備(人と野生動物が共生できる森林育成)
- ⑤住民参画型森林整備(地域住民の自発的活動支援)



森林の間伐  
(宍粟市一宮町東河内地区)



カゴ枠工(里山防災林整備)  
(たつの市揖西町新宮地区)



野生動物育成林整備  
(たつの市新宮町曾我井地区)

兵庫県

## 流木・土砂流出防止対策の取り組み

「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～30)」を定め総合治水対策と併行して、谷筋ごとに治山ダムや砂防えん堤を重点的に整備。

### 進捗状況(着手数)

人家等保全対策

【治山】 H28年度: 16箇所

【砂防】 H28年度: 1箇所



谷止工(宍粟市山崎町中野)



滝谷川 砂防えん堤(宍粟市山崎町中野)

兵庫県

## 兵庫県CGハザードマップの出前講座

スマートフォンなどのモバイル版CGハザードマップ(H27.6月より運用開始)を活用した防災学習の出前講座の実施



上郡高校 6月9日(木)  
参加人数:40人(上郡高校生徒)



相生産業高校 9月2日(金)  
参加人数:120人(定時制高校生徒、地元住民)

兵庫県

## 模型実験による総合治水のPR

フロンティア祭や土木の日イベントで、住民参加による総合治水模型実験を実施し、総合治水の取組みの理解を深めるとともに、効果をPR



フロンティア祭 4月29日(金)  
光都プラザ芝生広場(赤穂郡上郡町)  
【模型製作】神戸工業高等専門学校



土木の日イベント 11月27日(日)  
西播磨文化会館(たつの市新宮町)  
【模型製作】明石工業高等専門学校

姫路河川国道事務所

## 県民に対する防災情報の発信(水防災の取り組み)

CCTVによるリアルタイムカメラ映像、道路アンダーパス部の浸水情報の発信



CCTVによるリアルタイムカメラの映像  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/index.php>

## 近畿道路冠水危険箇所マップ

道路冠水危険箇所					
番号	箇所名	種別	路線名	交差物件名	
兵庫県-124	山崎JR交差点	都道府県道	(一)姫路環状線	JR山陽本線	
府県	市町村	住所			
兵庫県	姫路市	飾磨区山崎台80地先			
管理者		警察署 ※緊急時は110番へ	消防署 ※緊急時は119番へ		
名称	兵庫県姫路土木事務所 道路保全課	名称	飾磨警察署	名称	姫路市消防局
TEL	079-281-9503	TEL	079-235-0110	TEL	079-223-0003

位置図



道路アンダーパス部の浸水情報

<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/kansuimap/>



## 地域での防災マップ作成支援

防災マップ作成講習会の実施(県は講師を派遣)



9月11日(火) 一宮町北部



10月16日(日) 波賀町



10月23日(火) 一宮町南部



2月12日(日) 山崎町(菅野・土万)

## 防災研修等の実施

防災リーダー育成のため、防災研修・講座を開催

兵庫県



「ひょうご安全の日西播磨地域のつどい」 1月21日(土)

姫路市



市民防災大学 9月24日(土)

たつの市



防災リーダー育成講座 1月25日(水)

姫路河川国道事務所

## 防災訓練の実施

揖保川水系総合水防演習を実施し、国・県・市町、警察・消防など52機関で連携を確認

5月14日(土)実施



開会式



畳堤の設置

各市町

## 防災訓練の実施



姫路市



宍粟市



たつの市



太子町

姫路市・・・市内6地区（①姫路東、②姫路市西・安富、③飾磨、④網干、⑤家島、⑥香寺・夢前）で各1回実施

たつの市・・・誉田地区で、火災対応訓練、地震対応訓練なども含めた総合訓練を実施  
2月12日（日）

宍粟市・・・山崎町河東地区で、地震対応を含む総合的な防災訓練を実施11月20日（日）

太子町・・・太田西地区の自主防災組織を中心に関係機関を含め実施 10月23日（日）

## 災害時における応援協定締結

各市町



姫路市



宍粟市



たつの市



太子町

市町名	協定内容	協定締結先	締結日
姫路市	緊急測量業務等	県測量設計業協会姫路支部、播磨測量設計ネットワーク	1月17日(水)
たつの市	物資の供給等	ゴダイ株式会社	11月 2日(水)
宍粟市	物資の供給等	ゴダイ株式会社	11月17日(金)
		ハリマ農業協同組合	1月18日(木)
太子町	被災者支援協力等	一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会	1月23日(月)
	福祉避難所の設置運営	社会福祉法人 大和福社会 ほか3法人	12月16日(金)
	燃料等の優先供給	兵庫県石油商業協同組合揖龍支部太子ブロック会	11月 1日(火)

県・各市町

## 兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)加入の促進

○兵庫県住宅再建共済制度 市町加入状況一覧(12月31日時点)

	H26年 加入率	H27年 加入率	H28年 加入率
姫路市	8.6%	8.9%	9.1%
たつの市	21.5%	21.3%	21.5%
宍粟市	20.4%	20.6%	20.9%
太子町	14.9%	14.9%	15.3%

加入戸数には、管理組合加入の該当戸数分を含む

兵庫県



フェニックス共済啓発リレーキャンペーン実施 9月16日(金)